

要人往来

海外旅行復活を目指すJATAの決意に呼応するかのよう、世界各地の国々から日本市場へのアプローチが続いています。その多様で熱い思いを共有しながら、着実に需要を創出拡大していかなければなりません。



アルマンド・シャンドロ アルバニア駐日大使館公使参事官 ②



ジョン・トゥーミー マリオット・インターナショナル バイス・プレジデント(太平洋セールス) ④



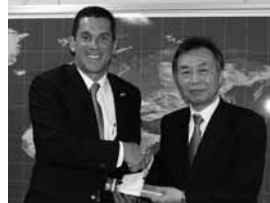
シモナ・レスコヴァル 駐日スロベニア大使 ⑧



リー・ジョンファン 韓国観光公社日本地域本部長 ①



ドラジェン・フラスティッチ 駐日クロアチア大使 ⑤



ルイス・ミゲル・インカピエ パナマ外務副大臣 ③



キム・ジョンズ 大韓航空常務日本地域本部長 ⑥



カンマーン・チャントラシー ルアンパバーン県副知事 ⑨



グレゴリ・クレイ ヴィジット・ナパバレーCEO ⑦

多様な観光資源を紹介

クロアチア 1月20日(水)

ドラジェン・フラスティッチ 駐日クロアチア大使

田川会長を訪れ、クロアチアの多様な観光資源を紹介し「来年の冬に向けてウインター・ツアーもアピールしていく」方針を説明。田川会長は「地域の生活文化に興味を持つ日本人旅行者も増えてきており、そうした素材を旅行会社に提供してほしい」と応えました。⑤

新たな地域への路線展開も検討

韓国 1月20日(水)

キム・ジョンズ 大韓航空常務日本地域本部長

チェ・ジョン・ホ前常務日本地域本部長と田川会長を訪問し、「新たな地域への路線展開も検討しており、訪韓日本人旅行者の拡大に協力したい」考えを表明。田川会長は「オリンピックに向けて日韓両国が協力を進め、観光交流を拡大していきたい」と意見交換しました。⑥

観光業の重要性への意識高める

米国 2月12日(金)

グレゴリ・クレイ ヴィジット・ナパバレーCEO

JATA本部を訪問し、「ナパバレーにおけるDMOの役割とその成果」をプレゼンテーションし、「観光業の重要性についての意識を高める活動・支援を行っている」と説明。中村理事長らはプレゼンテーションへの謝意を伝え、「ツーリズムEXPOジャパンでナパバレーをご紹介ください」と要請しました。⑦

JATAの観光促進活動に協力

スロベニア 2月15日(月)

シモナ・レスコヴァル 駐日スロベニア大使

中村理事長を訪れ、JATAの観光促進活動に協力したい意向を表明するとともに、「スロベニアのプロモーションについてアドバイスをお願いしたい」と要請。中村理事長らは、「日本の旅行会社に情報を提供すれば、日本からのツアー旅行者が増えると思います」と説明しました。⑧

JICAの招聘事業によりJATAで研修

ラオス 2月15日(月)

カンマーン・チャントラシー ルアンパバーン県副知事

JICAラオス事務所による観光振興事業の一環として招聘プログラムで来日し、JATAの活動を研修。中村理事長は「JATAとしてラオスへの取り組みを強化しており、2月に実施されるファミツアー後の送客が期待されています」と説明しました。⑨

JATAとの協力関係を維持

韓国 1月6日(水)

リー・ジョンファン 韓国観光公社日本地域本部長

田川会長を訪れ、JATAとの協力関係維持と他団体・組織との交流拡大の方針を表明。田川会長は「文化交流やオリンピックをキーワードに日韓のビジネス関係や相互理解を深めていきましょう」と応じました。①

日本での認知度の向上を

アルバニア 1月12日(火)

アルマンド・シャンドロ 駐日大使館公使参事官

中村理事長を訪問し「JATAとの協力を強化してアルバニアの認知度を高めたい」と説明。中村理事長は「『ヨーロッパの美しい村30選』にベラットが入り、日本からのツアーも増えるでしょう。ツーリズムEXPOジャパンへ出展すれば、認知度が高まると思います」とアドバイスしました。②

直行便の就航に向けて交渉

パナマ 1月13日(水)

ルイス・ミゲル・インカピエ 外務副大臣

中村理事長を訪れ、「日本からの直行便就航に向けて交渉を進める予定で、4月には大統領も来日し両国関係の強化を図ることになる」と説明。中村理事長は「パナマ運河に加えて、伝統・文化・料理などの観光情報提供を積極的に行ってください」と話しました。③

合併効果を両社の顧客へ還元

米国 1月14日(木)

ジョン・トゥーミー マリオット・インターナショナル バイス・プレジデント(太平洋セールス)

中村理事長を訪問し、「スターウッドホテル&リゾートとの合併による変更・結果は、両社の顧客のために生かしていきたい」考えを表明。中村理事長は「世界最大規模の企業としてツーリズムEXPOジャパンに出展していただきたい」と要請しました。④